

# INFECTION CONTROL

THE JAPANESE JOURNAL OF INFECTION CONTROL

11

## 新型コロナウイルス 特別企画

謹呈

MC メディア出版

▶ Current Knowledge for ICT

COVID-19流行下のインフルエンザ～油断大敵！海外ではトリも含めて蔓延中！？～

▶今アツい！ 感染界隈My Topic

検疫所の役割と検査方法

Practical  
特集

感染症シーズン① ダウンロードデータつき！



10分で伝わる



インフルエンザ＆ノロウイルス＆  
新型コロナウイルス

“あるある！”落とし穴の  
解決マニュアル



Advanced & Focus特集

新型コロナウイルスで注目！

医療機関や介護施設における  
空調管理

特別企画  
患者＆スタッフ向け



院内啓発用  
ポスター付き

## 社会医療法人 愛仁会 愛仁会リハビリテーション病院の活動

社会医療法人 愛仁会 愛仁会リハビリテーション病院 院内感染対策室 室長  
(感染制御実践看護師／特定看護師) 市橋卓浩

図1 手指衛生の啓発ポスター



WHOのプログラムに沿った  
ポスター

## ポスター導入に至る経緯

手指衛生は感染対策の基本であり、医療関連感染を予防するうえで、すべての医療従事者が必要なときに、適切なタイミングで手指衛生を実施する必要がある。当院はリハビリテーション専門病院で200名以上の理学療法士・作業療法士が勤務していることから、療法士の感染対策の指導に尽力しており、2021年に日本環境感染学会などが共催した手指衛生指導者育成セミナー「TTT (Train the Trainer) in hand hygiene-Japan」<sup>1)</sup>で教育を受けた理学療法士を配置している。この手指衛生指導者は世界保健機関 (World Health Organization, WHO) が推奨する「手指衛生改善のための多角的戦略」に則った実践的なプログラムの受講者である。そのなかで推奨されるHHSAT (Hand Hygiene Self-Assessment Framework) という診断ツールを用いて分析を実施したと

ころ、当院の手指衛生における弱みとして浮き彫りになった項目の一つが職場での注意喚起（現場掲示）であった。ポスターの作成にあたっては、実際の介入時などの場面を多く盛り込むことで臨場感をもたらせた（図1）。

## 電子カルテ上の啓発の工夫

当院でも以前よりポスターによる手指衛生啓発を実施してきたが、療法士で構成される感染委員会（感染リンクセラピスト会議）で、より効果的な現場掲示について検討した。紙媒体のポスターは構造上、設置箇所が限定されてしまい、職員の誰もが目にすることが難しかった。ポスターの作成は簡便であるが、長期間掲示することによって職員に認識されなくなってしまう。また、材質が紙であるため破損や劣化、張り替えの手間なども指摘された。そのような問題点を解決するため、HHSATでも示されてい

図2 スクリーンセーバー上の啓発画像



インパクトの強い写真で  
印象付ける！

末にスクリーンセーバーの設定変更を行った。

## 導入を実施した効果

紙媒体のポスターと比較してデスクトップ画面に表示される画像は、鮮明で比較的大く表示されている。視覚的効果が強いため、職員の意識向上に寄与しているのではないかと考えている。一方、導入直後であることから手指消毒薬の使用量や直接観察法による効果の検証は、今後実施していきたいと考えている。

## 引用・参考文献

- 1) 日本環境感染学会ほか. TTT (Train the Trainer) in hand hygiene-Japan～WHO手指衛生多角的戦略に基づく手指衛生指導者育成セミナー～. [http://www.kankyoukansen.org/modules/news/index.php?content\\_id=412](http://www.kankyoukansen.org/modules/news/index.php?content_id=412)